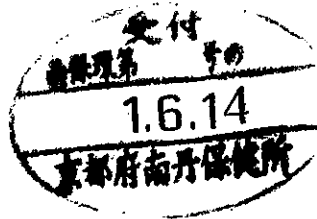


特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 元年 6月 14日

京都府知事 様



提出者

住 所 京都府長岡京市焼町1丁目

氏 名 パナソニックミコンダクターソリューションズ株式会社

代表取締役社長 小山 一弘

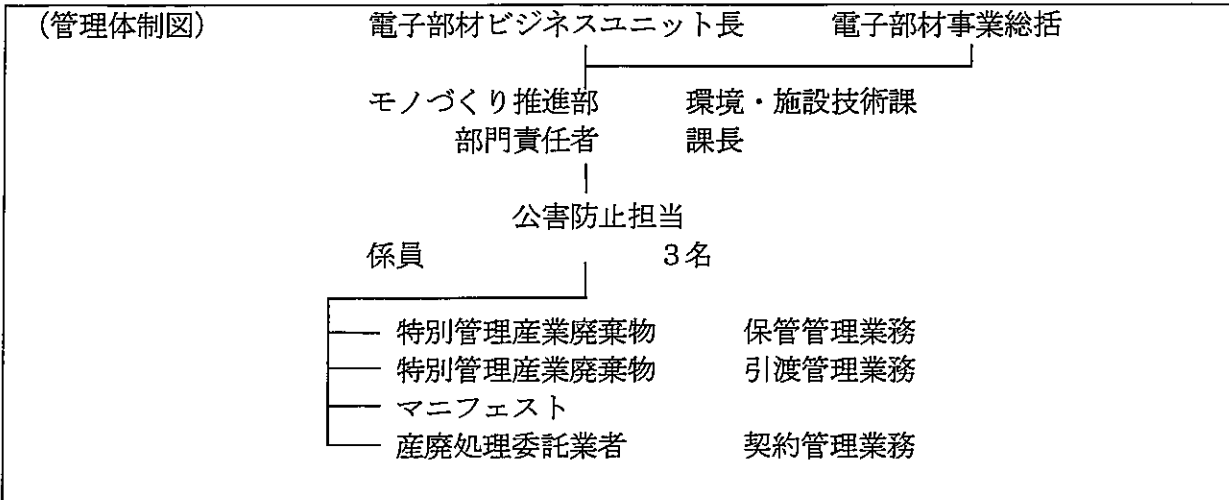
電話番号 (075) -956-8151

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	パナソニックミコンダクターソリューションズ株式会社 亀岡事業場
事業場の所在地	京都府亀岡市大井町小金4丁目24番地
計画期間	平成31(2019)年4月1日～令和2(2020)年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	その他電子部品製造業 【2899】
② 事業の規模	年間販売高 110億円
③ 従業員数	386人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙—1 参照

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成 30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ（有害）	
	排出量	22.830 t	t
	（これまでに実施した取組） ・強アルカリ廃液の排出削減： シアン化合物定量補充装置の設置による使用量の削減		
② 計画	【目標】（令和 元年度）		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ（有害）	
	排出量	23.200 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・新規設備導入時には、シアン化合物定量補充装置を設置する。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・排出部署により排出廃棄物の名称、種類、重量、含有物質、排出日、排出部署、排出者名を記入した引渡し伝票と共に廃棄物を環境・施設技術課が引取り、同時に上記記入されたタックシールを環境・施設技術課の受付印を押印し、排出物に貼り付け、種類毎に分別区分した倉庫で保管する。	
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 同上	

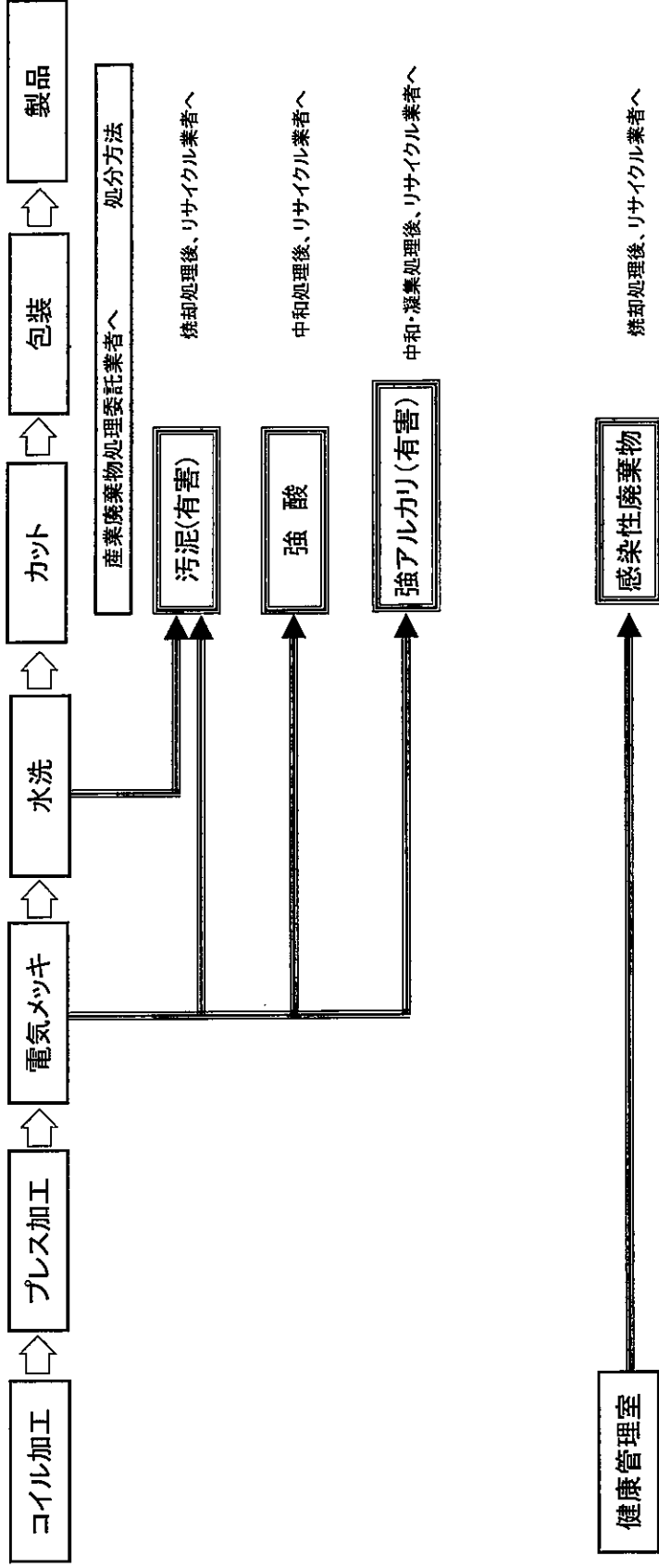
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり	
	全処理委託量	別紙-2のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙-2のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙-2のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙-3のとおり		
	全処理委託量	〃	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	〃	t	t
	再生利用業者への処理委託量	〃	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(平成 年度)実績】			
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビニル廃棄物を除く。)		t	
	(今後実施する予定の取組)			
全廃棄物に対し電子マニフェストにて対応済				
※事務処理欄				

【特別管理産業廃棄物発生・処理フロー】



別紙-2: 平成30年度実績

産業廃棄物  
 産業廃棄物  
 特別管理産業廃棄物

No.	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類	平成30年度計画 (t/年)	実績値											
			産業廃棄物・特別管理産業廃棄物発生量 (t/年) ①	自己直接再生利用料 (t/年) ②	自己直接処理立処分又は海洋投入量 (t/年) ③	自己中間処理量 (t/年) ④	自己中間処理残量 (t/年) ⑤	自己中間処理後、再生利用量 (t/年) ⑧	自己中間処理立処分又は海洋投入量 (t/年) ⑨	委託処分量				
										直接及び自己処理後処理委託量 (t/年) ⑩	⑩のうち優良認定業者処理委託量 (t/年) ⑪	再生利用者への処理委託量 (t/年) ⑫	熱回収認定業者への処理委託量 (t/年) ⑬	⑬以外の熱回収業者への処理委託量 (t/年) ⑭
①	強アルカリ(有害)	20.178	22.830	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	22.830	22.830	22.830	0.000	0.000	0.000
②	強酸	64.923	92.030	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	92.030	92.030	92.030	0.000	0.000	0.000
③	汚泥(有害)	3.325	3.193	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	3.193	3.193	3.193	0.000	0.000	0.000
④	感染性廃棄物	0.040	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	合計	88.466	118.053	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	118.053	118.053	118.053	0.00	0.00	0.00

【排出量の増加理由】

生産計画の品種比率が大きく変動し、酸性薬品を多く使用する品種が増産(計画比約170%増)された為、強酸の排出量が大きく増加した。

産 業 廃 棄 物  
特 別 管 理 産 業 廃 棄 物

別紙-3: 令和元年度\_計画

産 業 廃 棄 物・特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	平成30年 度 実 績 (t/年)	計 画 値										(内 訳)				
		産 業 廃 棄 物・特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 産 生 量 (t/年) ①	自 己 直 接 再 生 利 用 料 (t/年) ②	自 己 直 接 再 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 量 (t/年) ③	自 己 中 間 処 理 量 (t/年) ④	自 己 中 間 処 理 残 量 (t/年) ⑤	自 己 中 間 処 理 後、再 生 利 用 量 (t/年) ⑥	自 己 中 間 処 理 後 自 己 又 は 海 洋 投 入 量 (t/年) ⑦	委 託 処 分 量 直 接 及 び 自 己 処 理 後 委 託 量 (t/年) ⑧	⑨の うち 優 良 認 定 業 者 へ 委 託 量 (t/年) ⑩	再 生 利 用 業 者 へ 委 託 量 (t/年) ⑪	熱 回 収 認 定 業 者 へ 委 託 量 (t/年) ⑫	⑬以外の 熱 回 収 業 者 へ 委 託 量 (t/年) ⑭	合 計	0.00	
① 強アルカリ(有害)	22.830	23.200	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	23.200	23.200	23.200	0.000	0.000	0.000
② 強酸	92.030	93.500	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	93.500	93.500	93.500	0.000	0.000	0.000
③ 汚泥(有害)	3.193	3.300	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	3.300	3.300	3.300	0.000	0.000	0.000
④ 感染性廃棄物	0.000	0.040	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.040	0.040	0.040	0.000	0.000	0.000
合 計	118.053	120.040	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	120.040	120.040	120.040	120.040	0.000	0.000

【排出量の増加理由】

令和元(2019)年度\_生産高計画金額の前年度比率を、前年度実績値に掛けた値とした。